

第19回 広島市植物公園 ガーデニングコンテスト 総評

広島市植物公園のガーデニングコンテストを今年も多くの皆様にご参加いただきました。誠にありがとうございます。今夏もとてもあつい夏でしたが多くのすばらしい作品と出会えました。

今回より、部門別の作品募集をなくしました。

コンテスト全体の印象としてレベルの高い作品が多く、質感、デザイン、色合い、植え込み技術それぞれ創意工夫、技術の向上がうかがえ、出展者の皆様の並々ならぬ努力と情熱を感じました。今年も異常気象により、材料集めが大変だったことと思います。一つ一つの作品から多くの感動をいただきました。

今年の課題は、『 秋を満喫 』でした。

「ハンギングバスケット作品」全体の印象は、レベルが上がったというのが第一印象でした。植え込んであまり時間のたっていない作品もありましたが、皆さま創意工夫された跡が見られ、次回もいろいろな作品に会えるのを楽しみにしております。

「コンテナガーデン作品」全体の印象は、器と植物の調和を考えた作品が多く、それぞれの秋を表現され、十人十色いろいろな秋を楽しませていただきました。

来年の課題は、『 見せる、魅せる花の祭典 』です。

いよいよ来年はオリンピックイヤーです。オリンピックがスポーツの祭典ならば、植物を使って華やかに、情熱あふれる祭典を表現してください。

魅せる情熱、つながる感動、たくさんのご応募、心よりお待ちしております。

当コンテストの審査の評価基準は下記のとおりです。今後の作品づくりの参考になさっていただくと幸いです。

区分	評価項目	評価の基準
デザイン	プロポーション	全体のバランス（縦横のバランス、凹凸、植物の向き）はいいか
	カラーコーディネート	花や葉の組み合わせはどうか、質感が生かされているか
植え込み 技術	植物の選択	季節（生育適温など）、栽培条件（光、乾湿など）にあった種類の植物が選択してあるか
	植物の活力	植物がいきいきしているか、枯れ葉、花がら、病虫害被害はないか、今後の生育が期待できるか
総合評価		第1印象を含めた完成度（テーマ性、斬新さ、統一感など）